

手の発生

光の差さない場所に 手を伸ばした

「君は分離物です。どうにもやりきれません。

此処で見えるものの全部、君には何も見えていないのと同じです。

鼓動が伝わりますか？

指先から血が流れても、君は直視できますか？

君の手からは、血管が見えませんか。

恐らく、手の影は死体も同然です。」

右手からは 頭の間が

左手からは 心の眼が

指先を通して伝わる振動の音は

小さく 弾けて溶けた

白熱灯は 手をすり抜けた

手鏡は 塵を乗せて世界を運び

眼鏡ケースには 見えないものを詰め込んだ

ペンの先で揺れる

全てのもの選択肢は

消しゴムで消せる

多彩な感情と共に葬り去った

糊では 名誉を再生し

鋏で 濁り切ったシナプスを千切りまくり

定規で測れるものには 「不採用」の文字を当てつけた

触れるものには いつでも意味を

触れないものには いつでも見えないものを
形のあるものには いつでも宿命を
形のないものには いつでも自由を

手の隙間から 私が発生した